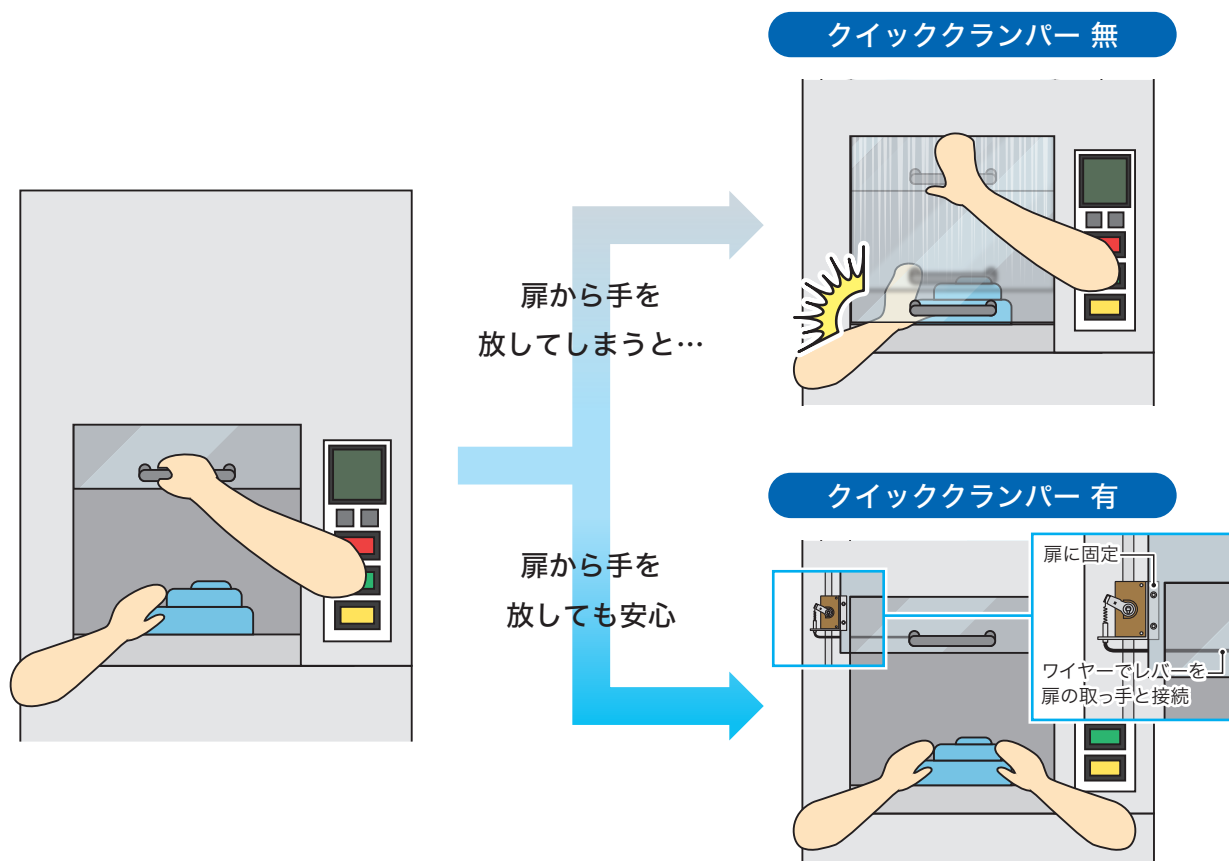


扉・シャッターの落下防止（手動）



概要

上下するスライド扉の落下防止機構です。
レバーユニットは扉に固定し、扉の開閉方向と平行に設置したシャフトに配置。レバーと扉の取っ手（ラッチハンドルなど）をワイヤーで接続します。
扉の取っ手を握るとワイヤーが引かれてレバーユニットがアଙ୍କランプし、扉を上下させることができます。
取っ手から手を放すとその場でレバーユニットがクランプし、扉が固定されます。

クイッククランパー導入効果

上下する扉に落下防止機構が無い場合、作業者の腕を挟んだり、落ちてきた扉がワークにぶつかって破損したりする危険性があります。
レバーなどでロックをかける落下防止機構の場合、ロックし忘れや、レバーの倒し方が緩く作業中に扉が落ちてきてしまう可能性があります。
クイッククランパーによる落下防止機構ならば、扉の取っ手から手を放すと同時に自動的に扉が固定されるので安心です。両手が空くので、作業効率も上がります。

利用製品： レバーユニット



分野：一般産業製品、食品機械、自動車

用途例：切削機などのワーク取出口